

問17-(2) (1)の1～27の症状・問題行動のうち、退院後予測されるものを選択してください。
(複数選択可)(3カ月時点)

<input type="checkbox"/> 1. 自殺念慮	<input type="checkbox"/> 11. 不潔行為	<input type="checkbox"/> 21. 徘徊
<input type="checkbox"/> 2. 自傷行為	<input type="checkbox"/> 12. 衣類を破る・脱ぐ	<input type="checkbox"/> 22. 多動・行動の停止
<input type="checkbox"/> 3. 言語的暴力	<input type="checkbox"/> 13. 収集癖	<input type="checkbox"/> 23. 強迫行為
<input type="checkbox"/> 4. 身体的暴力	<input type="checkbox"/> 14. てんかん発作	<input type="checkbox"/> 24. 過食・拒食
<input type="checkbox"/> 5. 衝動性	<input type="checkbox"/> 15. 気分易変性	<input type="checkbox"/> 25. 多飲水
<input type="checkbox"/> 6. 器物破壊	<input type="checkbox"/> 16. 集中力低下	<input type="checkbox"/> 26. 異食
<input type="checkbox"/> 7. 他者への迷惑行為	<input type="checkbox"/> 17. 特定の物や人に対する強いこだわり	<input type="checkbox"/> 27. 物質依存
<input type="checkbox"/> 8. 性的逸脱行為	<input type="checkbox"/> 18. ストレス脆弱性	
<input type="checkbox"/> 9. 放火	<input type="checkbox"/> 19. 服薬非遵守	
<input type="checkbox"/> 10. 失禁	<input type="checkbox"/> 20. 介助等への拒否・拒絶・抵抗行為	

問18 調査日現在の生活障害評価について、該当する項目を1つ選択してください。(3カ月時点)

	1	2	3	4	5
1. 食事	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
2. 生活リズム	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
3. 保清	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
4. 金銭管理	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
5. 服薬管理	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
6. 対人関係	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
A1. 電話の利用	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
A2. 買い物	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
A3. 交通手段	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5

問19 調査日現在の日常生活能力の程度について、あてはまるものを1つ選択してください。(3カ月時点)

<input type="radio"/> 1	精神障害を認めるが、日常生活および社会生活は普通にできる。
<input type="radio"/> 2	精神障害を認め、日常生活または社会生活に一定の制限を受ける。
<input type="radio"/> 3	精神障害を認め、日常生活または社会生活に著しい制限を受けており、時に応じて援助を必要とする。
<input type="radio"/> 4	精神障害を認め、日常生活または社会生活に著しい制限を受けており、常時援助を要する。
<input type="radio"/> 5	精神障害を認め、身の回りのことはほとんどできない。

[BPRS Overall版]

問20 重症度を表す数字の中で患者の現在の状況を最もよく示す番号を選択して下さい。(3カ月時点)

項目	項目	選択肢
1. 心気症	現在の身体の健康状態についての関心の程度。患者が自分の健康についてどのくらい問題と受けとめているかの程度を患者の訴えに相当する所見の有無に関わらず評価せよ。	
2. 不安	現在又は未来に対する心配、恐れあるいは過剰なこだわり。患者自身の主観的体験についての言語的訴えのみに基づいて評価せよ。身体徴候や神経症的防衛機制から不安を推測してはならない。	
3. 情動的引きこもり	面接者と面接状況に対する交流の減少。面接状況において患者が他者との感情的接触に障害があるという印象を与える程度のみを評価せよ。	
4. 概念の統合障害	思考過程の混乱、弛緩あるいは解体の程度。患者の言語表出の統合の程度に基づいて評価せよ。思考機能レベルに対する患者の自覚的印象に基づいて評価してはならない。	
5. 罪責感	過去の言動についての過剰なこだわり又は自責感。相応する感情を伴って語られる患者の主観的体験に基づいて評価せよ。抑うつ、不安あるいは神経症的防衛機制から罪責感を推測してはならない。	
6. 緊張	緊張、神経過敏あるいは活動レベルの高まりによる身体と運動機能における徴候。身体徴候や行動、態度のみに基づいて評価すべきであり、患者の訴える緊張についての主観的体験に基づいて評価してはならない。	
7. 奇癖と不自然な姿勢	奇妙で不自然な行動と態度。健常人の中では目立つようなある種の精神病者の行動と態度の類型。動作の異常のみを評価せよ。単なる運動性亢進はこの項目では評価しない。	
8. 誇大性	過大な自己評価と並はずれた才能や力を持っているとの確信。自分自身についての、又は他者との関係における自己の立場についての患者の陳述のみに基づいて評価せよ。面接状況における患者の態度に基づいて評価してはならない。	
9. 抑うつ気分	意気消沈と悲哀。落胆の程度のみを評価せよ。いわゆる制止や身体的愁訴に基づいて抑うつの存在を推測して評価してはならない。	
10. 敵意	面接状況ではないところでの、他者に対する憎悪、侮辱軽蔑、好戦性あるいは尊大。他者に対する患者の感情や行動の言語的訴えのみに基づいて評価せよ。神経症的防衛機制、不安あるいは身体愁訴から敵意を推測してはならない。(面接者に対する態度は「非協調性」の項目で評価せよ。)	
11. 猜疑心	現在又は以前に患者に対して他者からの悪意や差別があったという(妄想的あるいは非妄想的な)確信。言語的訴えに基づいて、それが存在した時期に関わらず、現在認められる猜疑心のみを評価せよ。	
12. 幻覚による行動	通常の外界の刺激に対応のない知覚。過去1週間以内に起こったと患者が訴える体験のみを評価せよ。それらの体験は健常人の思考や表象過程と明らかに区別できるものである。	
13. 運動減退	緩徐な動きによって示されるエネルギー水準の低下。患者の行動観察のみに基づいて評価せよ。自己のエネルギー水準についての患者自身の自覚的印象に基づいて評価してはならない。	
14. 非協調性	面接者に対する抵抗、非友好性、易怒性の徴候あるいは協調的態度の欠如。面接者と面接状況に対する患者の態度と反応のみに基づいて評価せよ。面接状況ではないところでの易怒性や非協調性の情報に基づいて評価してはならない。	
15. 不自然な思考内容	普通ではない、風変わりな、異様なあるいは奇怪な思考内容。ここでは不自然さの程度を評価し、思考過程の解体の程度を評価してはならない。	
16. 情動の平板化	感情的緊張度の低下。正常の感受性や興味・関心の明らかな欠如。	
17. 興奮	感情的緊張度の高揚、焦燥感あるいは反応性亢進。	
18. 失見当識	人、場所あるいは時についての適切な関連性の混乱又は欠如。	

※ 問21は、調査区分(3)が対象です

問21 退院日 年 月 日

以上

